

情報化時代と言われて久しいが、いまや“情報の洪水”のように多様な情報が発信されている。既存のメディア（新聞、出版、放送）に加えてインターネットにより膨大な量が発信されている。

多様で膨大な情報や知識にそれぞれ人がどのように接しているのか、さらにそれらを判断や認識、選択や行動と結びつけているのだろうか。

添付の資料を踏まえ、以下の問題に答えなさい。解答は、別紙解答用紙に書くこと。

課題 1（全 4 問）

資料 1 のグラフ 1～4 についてそれぞれ 100 字以内で解説しなさい。

- ① グラフ 1 「世の中の出来事や動きを知るうえでいちばん役に立つメディア」
- ② グラフ 2 「政治や社会の問題について考えるうえでいちばん役に立つメディア」
- ③ グラフ 3 「教養を身につけるうえでいちばん役に立つメディア」
- ④ グラフ 4 「生活や趣味に関する情報を得るうえでいちばん役に立つメディア」

課題 2（小論文）

資料 2 は、「メディア接触が自由時間に占める割合」の年齢別グラフである。このグラフを参考にして、以下のテーマについて 800 字以内で論述しなさい。

現在では、インターネットが既存のメディアと並び大きな情報発信の役割を担っている。あなた自身は、このインターネットを日常生活でどのように活用しているかを説明しながら、それが自身の判断や行動に役に立っているか、さらに活用するうえでどのようなことに留意しているかなどを具体的に論じなさい。

出典

資料 1 藤竹暁『図説 日本のメディア』、NHK 出版、2012 年、p.245,247,249,251

資料 2 同上、p.240